

## 新型コロナウイルスの感染のまん延防止に係る 教育委員会(生涯学習部)の取組方針

現在、「相模原市事件・事故等対処計画」に基づく危機レベル3が発令されているが、不要・不急の外出や施設利用の自粛を要請する段階には至っていない。

しかしながら、全国各地で新型コロナウイルスへの感染が確認され、本市においても感染の報告がある中で、2月16日の厚労省の記者会見において、「不要・不急な集まりをなるべく自粛することを検討」と発言している状況であることから、教育委員会として感染拡大の恐れが減少するまでの当面の間、まん延防止に向けて次の方針で取り組むこととする。

### 1 教育委員会主催のイベント、研修、会議等

不要・不急のイベント等については、中止、延期、規模の縮小、時間の短縮、代替手段への切り替えを検討する。

講習会や説明会など、当初日程での実施が避けられないものは、「アルコール消毒、手洗い、うがい、マスク」など感染防止を徹底させた上で実施する。

(中止、実施方法を変更する例)

文化・スポーツ・啓発イベント	中止、延期、規模の縮小、時間の短縮
会議	メールや郵送による資料送信・情報共有

共催事業の場合は、共催団体と丁寧に調整の上、教育委員会主催に準じて対応することを基本とする。共催団体との調整で実施する場合は、上記の感染防止を徹底する。その他、市の関係団体主催事業についても同様とする。

### 2 当面の間について

令和2年3月末頃までを目安とする。

#### 用語について

「不要・不急」とは

市民生活に直接大きな影響を与えることがないようなもの。

「集まり」とは

ア 集会、行事、祭り、競技会、会議等のうち、不特定多数の人が集まる可能性がある催し。

「不特定多数が集まる」とは、概ね「集まり」の参加者が限定できるような行事、会議等は想定していない。

イ 高齢者や基礎疾患がある人が集まる可能性の高い催し。

(2月19日開催の危機対策本部会議の資料より)